

経営工学部会 平成21年 2月度研修会議事録

経営工学部会

部会長 毛利悦造

幹事 河内、末浪

日時 平成21年 2月21日 1時30分より4時35分まで

場所 (社)日本技術士会 近畿支部 会議室

出席者 (敬称略)

毛利悦造、池田洋二、新庄秀光、間島勝彦、中西正士、岩井孝志、栗山仙之助、八代 弘、杉村光二、服部信美、有吉賢一、花田憲三、杉本哲雄^(*)、西村康一^(*)、河内弘茂、末浪憲一 (以上16名) ,^(*)印：体験出席者

1. 毛利部会長の挨拶

本年最初の研修会である。例年通り 6 回の研修会を行うが、1 回位は、より深く議論し親睦を深めるために、1 泊の研修旅行も考えたい。景気が悪いが、今こそ次の発展に備えるべき時である。

この 4 月から、経営工学部会を中心として、大阪府立高専で、企業経営の講義が始まる。技術士を PR 出来るよい機会であるので、頑張って戴きたい。

昨年「中小企業の品格」について、議論してきたが、社会の状況が大幅に変化したので、再度、今後の進め方について、部会員の知恵を借りたい。

部会に対して 何をしてもらえるかだけでなく、部会活動を活性化するために何が出来るかを考えて部会活動に協力を頂きたい。

2. 体験見学者の簡単な自己紹介(経営工学部会入会を勧めている。)

杉本先生：技術士(建設部会幹事)、UR 都市機構勤務中

西村先生：技術士補(三洋電機、研究所勤務)本年技術士 2 次試験受験の予定

3. 研修：担当 池田洋二 (技術士 経営工学)

テーマ:下請け零細企業の自立化支援

外資系親企業の経営基盤は「素人集団化し、海外移転・世界最適調達を進める結果、コストダウン要請、下請けの選別・集約化を益々進めている。その上外資系親企業の危険な兆候が益々表面化し、それらの環境変化に最も対応出来るものが生き残れる時代である。今までは、「飯が食えればよい」として「現状維持」を強調してきた零細下請け企業にとって、否応なしの対応が喫緊の課題となった。講師は、外資系企業で下請け企業に購買・調達業務を担当していたが、定年後 その下請け企業の顧問として、下請け企業の継続的経営安定化のため、零細企業という難しい環境の中で、商品力強化と下請けからの脱皮等の課題を進めてきた生々しい活動の報告である。(経営という厳しい環境の中ではいろいろな要素のバランスを取りながら進める必要があり、教科書通りの改善策は通用しない難しさを教えられた。)

(1).企業の紹介

① 年間売上高：2 億円、② 従業員数：19 名、③ 製品：油圧ポンプ、モーター関連 (10 品目)、④ 親企業(発注元)との資本関係はない。

(2).プロジェクト推進の基本的な考え方：ややもすると、対立しがちなビジネスにおいて 2 つの考え方を基本とすることで、問題解決の糸口が見えてきた。

① 石田梅岩の思想（仁：他人を思いやる心、義：人として正しい心、礼：相手を敬う心、智：知恵を商品に活かす心）

② 選択肢：「人間は無意識でいると、常に自らの利益を優先させてしまう。WIN・WINの解決を構築しようとするときは、先ず相手の利益を優先させること。

(3).下請け企業の現況の説明

拮抗よりも協調の関係を指向してきた関係から、「下請けいじめ」に代表されるような「従属的な下請け関係」に変化した。

(4).自立型下請け企業を目指して必要なこと

「自社の意志で事業活動を継承できる」企業が自立型下請け企業である。親企業のいいなりにならず、親企業に対して価格交渉力を有しているところに特徴がある。

(5).親会社との関係

企業利益優先の経営体質を持つ親会社には、「危険な兆候」がある。その「まさか」のときに「配慮」しなければならない。

(6).下請法の説明と下請けを強化するための方策について

(7).実施事項

・アクションプラン1：

「ものと情報の流れ」の見える化を実現し、自律的な生産管理システムを構築する。

・アクションプラン2：

組み立てを中心とするプル生産方式を導入し、受注リードタイムの短縮を図る。

・アクションプラン3：コア部品の内製化を実現し、一貫加工・組み立て工程を構築

・アクションプラン4：見える化で問題点の発見と解決の効率化、現場力の向上

・アクションプラン5：エクセルによる簡単な生産管理システムを構築（①BOM構築、②見積リードタイム短縮、③部品所要量計算）、その他 ISO の取得、CAD 体制を構築する。

(8).今後の方向について

・予想出来なかった不景気となり、アクションプランの見直しが必要

・親企業との対等の立場で、最終顧客満足の立場から、折衝出来るようになった。継続していく。

・自立型（下請け）企業を目指し、独自製品の開発が必要、親企業の万一の場合にも社会的責任を全う出来なければならない。

・「利益優先主義」「成果主義」の問題点について、考えたい。

(9).質疑応答

・自立型を目指すために、商品力強化が必要である。

・他社よりも、優れたものを安価に供給する技術開発が必要

・親会社との資本関係

など、活発に提案的な意見が出され質疑したが、零細企業、資金力などの難しい状況を考えられていない場合が多かったように感じた。

4 経営者の品格について

このテーマを取り上げたときと、状況が大幅に変化しているので、見直しを行う。

そのため、研修会と同じ日に研修会とは別の時間帯で2時間程度の検討会を持つ。

時間など詳細は未定

目的は、部会員の相互研鑽と部会活動の活性化

5 大阪府立高専の受託講義

4月から始まるが、講義予定は次の通り(1講義/毎週)

- 1 池田(経)：組織・人と企業経営
- 2 間島(経)：情報システムとロジスティクス
- 3 岩井(経)：安全管理
- 4 有吉(経)：リスクマネジメント
- 5 牧野(機)：(塗料関係)
- 6 十川(機)：産業機械の基本・詳細設計例
- 7 石原(化)：技術開発で事業構造を変えた例
- 8 末利(化)：技術開発での失敗と成功例
- 9 亀尾(電)：企業体験オムニバス
- 10 山本(電)：紡績機械の自動制御装置開発での苦労点と解決策
- 11 竹ノ内(情)：開発プロジェクトの管理とリーダーシップ
- 12 森末(情)：競争力のためのIT活用
- 13 鍵谷(環)：(環境・廃棄物)
- 14 杉本(建)：都市計画事業の事業計画
- 15 花田(経)：経営工学まとめ

6 年間計画 開催日(予備日)：担当講師

開催日とその(予備日)には、予定を入れないようにして下さい。

6月13日(6月20日)：間島

8月8日(8月15日)：新庄

10月10日(10月17日)：(未定)

12月12日(12月19日)：服部

7 「(株)ダイヘン」の見学会

技術士業務研究会と合同で実施(賛成多数で決定)

人脈を得る上で効果的ですから、参加して下さい。企業の支援等で一番役立つのは、知識よりも人脈です。

実施日時：4月15日(水) 14時より

場所：神戸市東灘区向洋町西4丁目1番

見学会参加は、3月10日までに末浪までお知らせ下さい。

8 お問い合わせ

いろいろな情報は、Emailでお知らせしますので、必ず1日に1度はメールを開くようにして下さい。

全部会員への連絡事項がありましたらお知らせ下さい。連絡させていただきます。

以上